

第13回 「市民と議員の懇談会」

報 告 書

平成 31 年 2 月 5 日、6 日



奥州市議会市政調査会

目 次

ページ

1 開催要項	1
--------------	---

2 開催状況	2
--------------	---

3 各班報告書

総務常任委員	報告・概要		3 ～ 5
教育厚生常任委員会	報告・概要		6 ～ 8
産業経済常任委員会	報告・概要		9 ～ 11
建設環境常任委員会	報告・概要		12 ～ 14

4 写真	15 ～ 18
------------	---------

平成30年度市民と議員の懇談会開催要項

1 趣旨

議会情報の発信の場及び市民と議会との多様な意見交換の場として、「市民と議員の懇談会」（以下「懇談会」という。）を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見、提言、批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 実施主体

奥州市議会市政調査会

3 開催方法

懇談会は、常任委員会ごとにテーマを定め、そのテーマに関係する団体又は市民に参集いただき、同委員会を単位として開催する。

4 内容

懇談会は、2部構成とし、以下の内容で開催する。

(1) 議会報告

平成30年に係る議会活動の概要について報告する。

(2) 意見交換

常任委員会ごとに定めた以下のテーマについて、ワールド・カフェ方式（少人数のグループごとに意見交換を行い、途中でグループ構成を変更しながら、自由に意見を出し合う対話の仕方）により意見交換を行う。

【意見交換のテーマ】

委員会名	テーマ
総務常任委員会	公共交通について
教育厚生常任委員会	障がい者福祉について
産業経済常任委員会	6次産業化の取組みについて
建設環境常任委員会	交通安全について

5 開催日程

懇談会は、平成31年1月下旬から2月上旬までを目途に開催するものとし、日程、会場等の詳細は各常任委員会が定める。

市民と議員の懇談会開催状況

年月日	事業名	備考		
第13回「市民と議員の懇談会」〈4会場〉		男性	女性	計
2月5日 (火)	【教育厚生常任委員会】13:30～15:30 テーマ：障害者福祉について 奥州市総合福祉センター研修室・大会議室	12	12	24
	【産業経済常任委員会】14:00～16:00 テーマ：6次産業化の取組みについて 水沢地区センター 第1・2会議室	12	9	21
2月6日 (水)	【総務常任委員会】13:30～15:30 テーマ：公共交通について 奥州市役所7階委員会室	9	7	16
	【建設環境常任委員会】17:00～19:00 テーマ：交通安全について 奥州市役所7階委員会室	8	1	9
合 計		41	28	69
第12回（H29.11）5会場		66	15	81
第11回（H29.2）5会場		127	10	137
第10回（H28.2）5会場		267	26	293
第9回（H27.11）5会場（消防団各方面隊対象）		146	0	146
第8回（H27.11）10会場		132	9	141
第7回（H26.11）20会場		258	31	289
第6回（H25.11）5会場（女性団体対象）		0	94	94
第5回（H25.6）10会場		136	7	143
第4回（H24.7～8）30会場		399	55	454
第3回（H24.2）10会場		188	18	206
第2回（H23.7）10会場		167	18	185
第1回（H22.10～11）10会場		116	18	134

第 13 回「市民と議員の懇談会」報告書

総務常任委員会

1 開催月日	平成 31 年 2 月 6 日 (水) 午後 1 時 30 分 から 午後 3 時 25 分 まで
2 懇談テーマ	公共交通について 『私の望む これからの移動手段』
3 会 場	奥州市役所 7 階 第 1 委員会室
4 参加者数	16 名 (内訳：男性 9 名 / 女性 7 名)
5 出席委員	班 長菅 原 由 和 委員 進行係小野寺.....重 委員 説明係今 野 裕 文 委員 記録係高 橋.....晋 委員 受付係中 西 秀 俊 委員
6 欠席委員	菅 原 圭 子 委員

7 懇談会の概要 (別紙)

8 反省点、次回の課題等

.....ワールド・カフェ方式による市民と議員の懇談会は初めての試みであったが、参加者からの感想にもあるように概ね好評をいただいた。

.....主催側の総務常任委員会も不安なままの開催だったが、参加者の人選も的確に行われ、有意義な懇談会になった。

.....今後も、市民と議員の懇談会に関わらず、議員間でもこの方式を積極的に取り入れ、政策提言等に活かしていきたい。

.....

.....

.....

.....

.....

第13回「市民と議員の懇談会」概要

総務常任委員会 平成31年2月6日(水) 会場:奥州市役所 委員会室

①意見交換(ワールド・カフェ)

No.	意見・提言等
	参加者から出された意見・要望 ・高齢者の免許返納による、足の確保が課題である。 ・バス停までの距離が長く、歩くのが大変である。 ・膝が痛く、バスのステップを上がれない。 ・本線からの枝線を考えるべきである。 ・市の方向性と振興会の役割を明確にするべきである。 ・市全体の公共交通を考えるのも必要だが、地区を決めてモデルケースを作って全体に広めてはどうか。 ・免許返納割引期限の廃止。 ・バス会社だけでなく、タクシー会社、福祉施設、商工会議所にも協力してもらえないか。 ・自分の地区のことは、地区振興会で考えていかないとならない。 ・スーパーなどが送迎サービスを出来ないか。 ・胆沢やまゆり会の方法も参考にすべきである。 ・高齢者に地域限定免許証を交付してはどうか。 ・スクールバスを有効活用出来ないか。 ・デマンド乗合タクシーの推進。 ・前沢だけがハートバスを運行しているのは不公平ではないか。 参加者からの感想(16人) ・満足……………4人 ・やや満足……………10人 ・どちらでもない…1人 ・やや不満……………0人 ・不満……………0人 ・無回答1人 その他(ご意見・要望) ・ワールド・カフェ方式は非常に良い方法と思う。今後も同方法で続けてほしい。 ・ワールド・カフェ方式は非常に良い方法と思う。もう1回くらい席の移動が有っても良かったのではないかな。 ・いろんな方の意見を聞けてとても良かった。 ・雑談から得られるヒントは多くあると思う。 ・関係団体(行政・タクシー会社・社会福祉協議会・NPO・商工会議所・バス会社)ともしっかりと深い意見交換が必要と感じた。

第13回「市民と議員の懇談会」概要

総務常任委員会 平成31年2月6日(水) 会場 奥州市役所 委員会室

②議会へのご意見等

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	区長になって緊急告知ラジオを前任者から譲り受けたが、点検はやっているのか。	そもそも電波の関係から音が入らない地域もあるが、確認のため担当課に取り次ぐ。	会議後、担当(市民環境部危機管理課)にご案内した。
2	群馬では電話回線を使った有線放送があり、市の行政連絡や緊急放送を放送していた。電波は関係なく、電話の回線を使って放送するシステムがあった。料金も安いようである。 電波の問題はそれで解決するのではないかと思う。	前沢地域では有線放送により情報発信されている。電話回線を使用した際の問題点は、停電時に使用できなくなることであり、そういう意味合いで緊急告知ラジオが導入されているのだと思われる。 なお、前沢の有線放送は、農協が運営主体でやっていたいいる。	

第 13 回「市民と議員の懇談会」報告書

教育厚生 常任委員会

1 開催月日	平成 31 年 2 月 5 日（火） 午後 1 時 30 分 から 午後 3 時 30 分 まで
2 懇談テーマ	障害者福祉について 『障がいのある人もない人も暮らしやすい奥州市をつくろう』
3 会 場	奥州市総合福祉センター 2 階 研修室・大会議室
4 参加者数	24 名 (内訳：男性 12 名 / 女性 12 名)
5 出席委員	班長 高橋 政一 委員 進行係 鈴木 雅彦 委員 説明係 千葉 敦 委員 記録係 小野 優 委員 瀬川 貞清 委員 受付係 阿部 加代子 委員 小野寺 満 委員
6 欠席委員	なし

7 懇談会の概要（別紙）

8 反省点、次回の課題等

様々な団体に声をかけたが、参加率が高かった。
 当日は時間に追われ忙しかった部分があり、余裕をもって進める
 ことができなかった。テーブルとテーブルの間隔が狭く、隣がどう
 しても気になる場所があった。
 障がいのある方にとっては条件が一樣ではなく、もっとゆっくり
 したペースで進めて欲しいという声があった。
 今回のやり方自体は概ね好評であり、継続していくべきだと考える。

第13回「市民と議員の懇談会」概要

教育厚生常任委員会 平成31年2月5日(火) 会場 奥州市総合福祉センター

①意見交換(ワールド・カフェ)

No.	意見・提言等
1	就労支援・雇用の拡大 人手不足 障害者の災害時の対応
2	農福連携 障がいに対して偏見を抱かない、身近なものとして接して欲しい
3	障がい者に対応した医療体制や介護体制の構築 障がい児と健常児のとの交流 成年後見人(市民後見人)の拡充
4	仲間づくり、差別のない地域 障がい者でも働ける環境作り 機会づくりだけではなく、配慮を
5	障がい者の親が亡くなった後の生活 障がいのある人も、ない人も集える場所
6	自立、仕事ができる環境を 人のつながり＝仲間づくり
7	相談窓口が少ない 公共交通の整備、バリアフリー 障がい者でも遊べる場所、一日過ごせる場所
	参加者からの感想(23人) ・満足…………… 3人 ・やや満足…………… 13人 ・どちらでもない… 3人 ・やや不満…………… 0人 ・不満…………… 1人 ・無回答…………… 3人 その他、意見、要望 ・ろう者には合わない。 ・代表一人ではなく、複数参加を認めて欲しい。 ・障がいのある若い人の声を聞いて欲しい。 ・進め方が早すぎる。 ・こういった形は初めてだったが、楽しくできた。

第13回「市民と議員の懇談会」概要

教育厚生常任委員会 平成31年2月5日(火) 会場 奥州市総合福祉センター

②議会へのご意見等

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	(障がい者)施設を建設する場合、市の補助金は最大800万円まで出すが、国に補助金を申請した場合にだけ出す。設計で500万円かかる場合、先にお金がかかる。国からの認可が下りない限り市からの補助金が出ないのを、なんとかして欲しい。	ご要望として承る。	
2	障がい者雇用で、奥州市はしっかりしてるよ！とアピールできるように頑張ってもらいたい。	ご要望として承る。	
3	福祉のプロフェッショナルになって欲しい。4年間でこれを！というものを。	ご要望として承る。	
4	公共交通は緊急の課題。奥州市でバス特区を。スクールバスに一般市民乗車などの開放。融通を効かせて欲しい。	バス計画の改定に取り組んでいるが、一元化の話は聞いていないので確認してみる。	
5	前沢明峰支援学校まで無償でバス送迎してもらっていたが、最近時間が変わって、バス通学できなくなった。	持ち帰り、県交通とも協議を促す。	
6	障がい者への災害時の支援。通所系(在宅・独り暮らし・高齢)。防災計画を作って終わりではなく、実態に即した訓練をしてほしい。	ご要望として承る。	

第 13 回「市民と議員の懇談会」報告書

産業経済 常任委員会

1 開催月日	平成 31 年 2 月 5 日（火） 午後 2 時 から 午後 4 時 15 分 まで
2 懇談テーマ	6 次産業化の取組みについて
3 会 場	水沢地区センター 2 階 第 1・2 会議室
4 参加者数	21 名 (内訳：男性 12 名 / 女性 9 名)
5 出席委員	班長 藤 田 慶 則 委員 進行係 萱 原 明 委員 説明係 廣 野 富 男 委員 記録係 加 藤 清 委員 佐 藤 郁 夫 委員 受付係 及 川 春 樹 委員 千 葉 和 彦 委員
6 欠席委員	佐 藤 郁 夫 委員

7 懇談会の概要（別紙）

8 反省点、次回の課題等

..... 初めてのワールド・カフェ方式での懇談会の開催ということで、
「6 次産業化」についてうまく意見を参加者から吸い上げることが
できるか不安であったが、概ね意見の聴取及び参加者間の情報共有
ができたと思われる。

..... アンケートでは、回答のあった 20 人中、14 名が「満足」または
「やや満足」と回答しているほか、様々な意見と聞くことができた
ことに対して「良かった」という感想などがあり、概ね参加者の評
価も高かったものと思われる。ただし、「時間が短かった」「テー
マを細分化すると良い」という意見もあり、「地元農産物を活用し
た 6 次産業化への取組み」というサブテーマを設定していたものの、
次回も同様なテーマとして開催する場合には、より具体的な取組み
をテーマすることが良い可能性がある。

.....
.....

第13回「市民と議員の懇談会」概要

産業経済常任委員会 平成31年2月5日(火) 会場 水沢地区センター

①意見交換(ワールド・カフェ)

No.	意見・提言等
	【各班の発表から】
1	・「若者から」「発信すること」が重要である。 ・個人で商品開発も重要だが、仲間を作り、市全体同じ方向でできれば良い。 ・1次産業を支えられる産業のバランスが重要である。
2	・加工場所、業者が必要である。JAが中心となって設置をしてほしい。 ・輸送もネックである。 ・ネット販売も金がかかる。
3	・ロット、輸送費、賞味期限が課題であることから、地産地消に立ち戻るべき。 ・規格外商品を受け入れる大規模レストランがメイプル(ジョイス跡地)にあれば良い。 ・遠方に販売する「大きい6次産業化」、地元で回す「小さな6次産業化」がある。ぜひ実現をしてほしい。
4	・江刺田原の原体は米産地である。米パンを作って15 年になるが、人手不足で困っている。朝3時の出勤であり、段々大変になった。 ・米に限らず新しい何かを考えるべき。凍結の餅を販売してはどうか。 ・PR活動が足りないのでは。SNS等の取り組みをしてほしい。 ・初期投資にお金が掛かることから補助金があれば良い。
5	・加工商品等の販売は消費者の立場に立つことが一番求められる。 ・地元の人には地元の良さを気づいていない。別地域との交流は地元の良さを気づかせてくれる。
6	・「加工場が無いこと」「賞味期限が短い」「売れ残り」といったことが大きい問題である。 ・商品に背景やストーリーを持たせて『奥州』を選んでもらうにはどうしたら良いか?」を突き詰め、地道に取り組んでいくべき。

第13回「市民と議員の懇談会」概要

産業経済常任委員会 平成31年2月5日(火) 会場 水沢地区センター

②議会へのご意見等

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	今回出てきた問題を市の農業振興ビジョンに盛り込んで頂き、1次産業従事者が楽しく、農業をやって良かったと思えるような農業施策を産業経済常任委員会の方々に進めて頂ければ非常に助かると思うのでよろしくお願いする。	そのように常任委員会で取り組みたい。	
2	7、8年前に国の政策で6次産業化についての資本金、準備資金に対する補助するものがあったと思うが、今もあるのか。	(千葉農業委員会農政専門委員会委員長)今もある。ただし、2分の1補助である。	
3	(2の質問への回答に続けて)自己負担が減れば6次産業化が進むと思うので、産業経済常任委員の皆様には15%でも10%でも良いので上乘せ補助をお願いしたい。	我々も議会の場で提言されたことを発言して行くように頑張りたい。	

第 13 回「市民と議員の懇談会」報告書

建設環境 常任委員会

1 開催月日	平成 31 年 2 月 6 日（水） 午後 4 時 57 分 から 午後 6 時 33 分 まで
2 懇談テーマ	交通安全について (特にも「歩行者」並びに「高齢ドライバー」の交通安全について)
3 会 場	奥州市役所 7 階 第 1 委員会室
4 参加者数	9 名 (内訳：男性 8 名 / 女性 1 名)
5 出席委員	班 長 飯 坂 一 也 委員 進行係 及 川 佐 委員 説明係 千 葉 康 弘 委員 記録係 高 橋 浩 委員 明 神 キヨ子 委員 受付係 渡 辺 忠 委員 及 川 善 男 委員
6 欠席委員	なし

7 懇談会の概要（別紙）

8 反省点、次回の課題等

..... 今回の懇談会は、ワールド・カフェ方式を採用して初めての開催であるほか、懇談テーマに沿った関係団体の代表者等に参加いただいたことから、少人数ながらも活発な意見交換がなされ、有意義な懇談会となった。

..... 本委員会における平成 31 年度の活動として、今回の懇談会において寄せられた意見、提言により、懇談テーマに関連する所管事務調査、行政視察などを実施し、検討を行ったうえで、本委員会からの政策提言につなげていきたい。

.....

.....

.....

第13回「市民と議員の懇談会」概要

建設環境常任委員会 平成31年2月6日(水) 会場 奥州市役所 委員会室

①意見交換(ワールド・カフェ)

No.	意見・提言等
	■意見・提言 ・煽り運転、追い越し禁止範囲での追い越し、一時不停止など、ルールを守らないドライバーに対し、交通ルールの遵守を徹底させる。横断者を保護するため、横断歩道前では必ず一旦停止する。 ・歩行者が優先であり、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいるときは、必ず停車する。 ・歩行者や自転車、運転免許証を持たない者も免許保有者と同様に交通ルールを遵守させる。 ・夜間に出歩く際は、反射材や反射器材を活用し、ドライバーから発見しやすくする。 ・お金のかかることではあるが、万が一の際の記録のみならず、運転しているという自覚を促す点からもドライブレコーダーの装着をすべき。 ・児童生徒がスクールバスから降りる際、横断し終えるまで見守るなど、バスの運転手にも安全確認をしてほしい。 ・歩行者、運転者共に、高齢者が被害者、加害者となっている事故が圧倒的に多い。高齢ドライバーの事故、高齢歩行者の事故をなくすことが交通事故の減少につながる。 ・周囲に高齢ドライバーの車両がいる場合に保護するという運転ルールを認識する。 ・自分自身が高齢者であると表明することに抵抗がある人もいるかもしれないが、車体に付けてしまえば自分からは見えないので、高齢者運転マークを堂々と付けてほしい。 ・高齢者が運転できなくなった時の代替移動手段として、地域ごとの交通手段(デマンド交通など)を確保してほしい。 ・他の市町村の取組事例を参考にしながら、具体的な形として発展させ、一日でも早く交通事故をなくすために交通対策をすべき。 ■参加者からの感想(9名) ・満足…………… 5人 ・やや満足…………… 3人 ・どちらでもない… 0人 ・やや不満…………… 0人 ・不満…………… 0人 ・無回答…………… 1人 ■その他の感想 ・高齢者の免許証返納に係る問題や対応について大いに考えさせられた。 ・特に高齢者の交通事故防止にクリップライトの着用が有効であるとの意見に賛同する。 ・子どもの登下校の見守り活動について、安全や事故の抑止のため重要であると感じた。 ・水沢地方の事故が多い理由が不明。高齢者宅訪問、反射機材の配布をしている。 ・個々に意識を持つことが一番いいこと。高齢ドライバー対策のいい案が出てこない。 ・通学路の横断歩道の対策(地区要望を重視)が必要である。 ・免許証所持者も歩行者も交通ルールを順守すること。 ・反射材、クリップライト活用のほか、ドライブレコーダーの活用を推奨する。 ・スクールバス運転手さんは子供たちにもう少し気を配ってほしい。 ・道路を横断するときには横断歩道の有無にかかわらず、必ず左右を確認することを機会あるごとに話をする。 ・今回の方式(ワールド・カフェ)は初めての体験。自由に話が出され、また、他の方の考え方を聞いて、それぞれの意見が非常に参考になった。職場での今後の活動に活かし、交通事故抑止に貢献したい。 ■御礼 いただいたご意見は、常任委員会としてしっかりまとめ、政策提言に結びつけていけるよう頑張りたい。

第13回「市民と議員の懇談会」概要

建設環境常任委員会 平成31年2月6日(水) 会場 奥州市役所 委員会室

②議会へのご意見等

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	舗装材の割り当てについて 舗装材の割り当てを600kgいただいた。どこを補強するか建設会社の担当者と現地確認し、歩道に水たまりができる場所を補強しようと考えたが、かなりの範囲であり、割り当て量では大変であると見積もった。市で調査し、車道部分だけでなく歩道部分も利用できるような対策をお願いしたい。	ご要望として承り、担当課に申し伝える。	

総務常任委員会

平成 31 年 2 月 6 日（水） 会場：奥州市役所 7 階 委員会室



教育厚生常任委員会

平成31年2月5日（火） 会場：奥州市総合福祉センター 2階 研修室・大会議室



産業経済常任委員会

平成31年2月5日(火) 会場：水沢地区センター 2階 第1・2会議室



建設環境常任委員会

平成 31 年 2 月 6 日（水） 会場：奥州市役所 7 階 委員会室

